

学校関係者評価 報告書

～令和 6 年度～

学校法人 日本航空学園

(専) 日本航空大学校

1 学校関係者評価委員会の目的

学校関係者評価委員会は、日本航空大学校（以下「本校」と略す）の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況、社会貢献など）について学校関係者より意見を聞き、その評価に基づき学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

2 学校関係者評価委員会委員名簿

規定第2条（構成）	所属	名前（敬称略）
専門分野における業界関係者	株式会社第一システム エンジニアリング 管理部企画管理課 課長	桐山 光明
専門分野における業界関係者	石川県工業試験場 博士（工学） 企画指導部長	前川 満良
保 護 者	学校法人 日本航空学園 雄飛会輪島会長	池 祐美子
地域の公共団体等の関係者	能登空港 ターミナルビル株式会社 代表取締役専務	前田 正彦
地方の公共団体等の関係者	青梅市 企画部 企画政策課 課長	野村 正明

3 学校関係者評価委員会

日 時：令和 6 年 10 月 24 日（木）15:00 ~ 17:00
場 所：(専) 日本航空大学校 応接室 および オンライン
出 席 者：学校関係者評価委員会、及び本校事務局側教職員

4 評価対象期間

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

5 学校関係者評価委員会次第

(1) 開会

小林学長より挨拶

(2) 出席者確認

各委員 挨拶

(3) 資料確認

評価委員会次第、委員名簿、
日本航空大学校 自己評価・自己点検集計表

(4) 議題

第 1 号議案 「令和 5 年度 自己評価報告書」説明および評価

学校関係者評価委員による評価は、令和 5 年度自己評価の項目ごとに
事務局から説明を行い、各委員から評価・意見をいただいた。
(詳細別途)

第 2 号議案 その他

学校関係者評価委員会における評価

評価は、4～1の点数で記載します。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(評価点数は委員の平均値を掲載)

★ 1. 教育理念・目標

評価 3.5

- ・課題意見 「卒業学年において就職内定学生のモチベーションが一部で低下する傾向が見られる」
→就職先の仕事に直結する基礎知識と技術を重点的に教育するとともに、上位資格の取得に向け意識づけを行う。

★ 2. 学校運営

評価 3.5

- ・課題意見 「申請書類が教員、学生とともに紙ベースの物が多い。書類の処理で多くの時間が費やされている。経費増や環境への負荷も多い」
→申請書類について、できるものから順番に電子化をしている。
就職活動に伴う公欠願を書類記入からオンライン入力に移行し、効率化につながっている。

★ 3. 教育活動

評価 3.0

- ・課題意見 「教員の能力開発研修が不足し、業界の現実に沿ったカリキュラムが反映されていない」
→授業の負荷が少ない期間（学生の長期休暇時）で外部団体の研修に参加する。関東では様々なセミナーが開催され、アクセスもよい。受講内容をカリキュラムにつなげていく。

★ 4. 学修成果

評価 3.5

- ・課題意見「卒業後の活躍や評価について、一部のみの把握に留まっている」
→企業説明会時に卒業生に来校してもらい、在校生にキャリア形成についての話を実施してもらう。
→ゼミ活動のOB会に在校生も参加し、先輩の業務内容を知る機会を設けている。

★ 5. 学生支援

評価 3.5

- ・課題意見「社会人のニーズは把握されておらず、これを踏まえた教育環境の整備も行われていない」
→企業担当者の来校時やOBの訪問時に、ニーズについて聞く機会を設けている。
→産学協同教育の計画時に教育担当と打ち合わせを行い、企業ニーズの把握に努めている。

★ 6. 教育環境

評価 3.0

- ・評価項目「防災に対する体制は整備されているか」
→防災時に備えて備蓄倉庫を設け、水や食料の備蓄を実施している。
→1年に1回、防災訓練を実施し避難経路の確認を実施している。

★ 7. 学生の受入れ募集

評価 3.0

- ・評価項目「学生募集活動は、適正に行われているか」
→オープンキャンパスに加えて、各高校に向いて大学校の強みをPRしている。

→高校生を中心にキャンパスに来ていただき、職業体験授業を開催している。

→進路学習サイトを活用し、認知度を上げる工夫を実施している。

★ 8. 財務

評価 3.0

- ・評価項目「財務情報公開の体制整備はできているか」

→情報公開の体制は出来ている。最新の情報を掲載できるように努めている。

★ 9. 法令等の遵守

評価 3.0

- ・評価項目「自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」

→自己点検・自己評価を大学校教職員が実施し、問題点の摘出および改善につなげている。

- ・評価項目「個人情報に關し、その保護のための対策がとられているか」

→情報リテラシー教育にて社内情報、個人情報および最先端技術などの機密事項を厳密に取り扱う重要性を、事例を交えて教育している。

★ 10. 社会貢献・地域貢献.

評価 4.0

- ・評価項目「生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか」

→地域の行事（祭り、マラソン大会など）に積極的に参加している。

→令和6年奥能登豪雨災害のボランティアに学生18名が参加し、復旧支援活動を実施した。

★ 1.1. 国際交流.

評価 3.0

- ・課題意見 「留学生同士での交流が目立つ」
→本校の留学生はいろんな国から来て、日本語をよく勉強している。地域の小学生から高校生への交流の機会を設けていきたい。